

訂正箇所

● p.53 下から7行目～p.54 1行目

- ・ 図 2.18 を削除
- ・ 「こうしておけば、……………電流は流れない。」を削除

以下の文章を追加

こうしておけば、漏電が発生すると、図 2.16 (b) のようにアース線に大きな電流が流れ、漏電遮断器の a と b の箇所に電流差が生じる。これを漏電遮断器が検知して回路を遮断する。人が触れる前に、漏電が発生した時点で回路を遮断するので、感電を未然に防ぐことができる。

また、漏電が発生した瞬間に人間が機器に触れていた場合でも、漏電遮断器が確実に動作するので、感電時間を最小限にすることができる。

(解説)

この部分は奥が深い。詳しい考察 (20 ページ弱) を以下の url で公開する。

http://denki.nara-edu.ac.jp/~yabu/katei-denki/rouden_kousatu.pdf

以上